

1. 科目名 (単位数)	カウンセリング演習 (4 単位)	3. 科目番号	EDPS3306
2. 授業担当教員	鎌田 依里		
4. 授業形態	講義 (ディスカッション)、演習 (ロールプレイ)、プレゼンテーション	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	「カウンセリングの基礎」の単位を履修していることが望ましい (この科目は、心理学部であれば「カウンセリングの基礎」を履修させていくものですが、社会福祉学部や教育学部の学生は、ソーシャルワークや教育相談などで学習したものと関連します)		
7. 講義概要	<p>カウンセリングの理論は、医療・教育・福祉の現場でも幅広く活用・実践されている。カウンセリングとは、何らかの援助を求める人 (クライアント) に対して、自己理解、環境理解と行動変容 (レポートが遅れがちな人が日時を守る、悩みが解消する、性格が明るくなる、など) を通して人をエンパワーすることを目的として、言語的・非言語的なコミュニケーションを道具として援助しようとする人間関係でありプロセスである。</p> <p>本講義では、カウンセリングの理論と技法の基礎を学びながら、単に頭で知識を学ぶのではなく、ロールプレイを通して、自分のコミュニケーションのあり方を振り返り、社会生活で健全な人間関係を形成するとともに問題を解決する能力を育てる。</p>		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. カウンセリングが具体的にどのような環境・方法で、どんな人達を対象に行われ役立っているのかを理解する。</li> <li>2. カウンセリングの基本的な態度・技法を習得し、実践できるようにする。</li> <li>3. さまざまなケースを通してクライアント理解を深め、対応のポイントを理解し、実践できるようにする。</li> <li>4. 社会生活で、人の生き方を尊重した支援ができるようになる。</li> </ol>		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・演習内容により、教科書内のワークへの取り組みが課される。</li> <li>・調べ学習を授業内で発表する等の課題が課される。</li> <li>・学期末にはレポートが課される。</li> </ul>		
10. 教科書・参考書・教材	<p><b>【教科書】</b> 鎌田依里編 (2026) 『難病患者の自己決定を支えるコンサルテーション (仮)』 2026 年 8 月出版予定, 遠見書房.</p> <p><b>【参考書】</b> 矢野智司・桑原知子編 (2010) 『臨床の知—教育臨床学と教育人間学からの問い』 創元社. 河合隼雄他 (2006) 『心理臨床の眼差』 新曜社. 平木典子他 (2011) 『心理臨床の深まり』 新曜社. 岸本寛史他 (2009) 『心理臨床の広がり』 新曜社. 河合隼雄他 (2005) 『心理臨床の知恵』 新曜社. 皆藤章 (2010) 『体験の語りを巡って』 誠信書房.</p> <p>その他、適宜、授業内で通知する。</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 現代社会がクライアントの悩みの解決だけでなく、なぜ多くの人々がカウンセリング学習を求めているのか、その背景や理由が理解できる。</li> <li>2. カウンセリングの基礎的な理論や技法である精神分析・来談者中心療法・行動療法を復習した上に、現在の主要な理論となっている認知行動療法 (論理療法) を含めたさまざまなカウンセリング理論と技法が理解できる。</li> <li>3. 受講生がグループ発表を通して、コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力を高められる。</li> </ol> <p>○評定の方法</p> <p>[授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。 授業への参加(出席、態度、発言) 50% レポート・発表・確認テスト 50% 以上で評価を行う。]</p>		
12. 受講生へのメッセージ	<p>カウンセリングを学ぶことは、カウンセラーを目指す人にとって必須となるのはもちろんのこと、「人と人との関わり」について真剣に想いを巡らすという点において、対人援助職を志す人すべてに役立つものである。本講義では、今までの基礎的な学びに基づき、より実践的な内容を扱う。受講する学生は、以下の点を大切に、講義に参加していただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他の受講生の学習に迷惑をかける行為は慎むこと。</li> <li>・授業中の携帯電話 (スマートフォン) の作動は厳禁である。</li> <li>・正当な理由がない限り、欠席・遅刻・早退をしないこと。欠席・遅刻・早退をした場合は、その理由を必ず教員に書面をもって報告すること。</li> <li>・授業内での発表およびレポート課題については、インターネットの情報は信ぴょう性が低いため引用文献としての使用しないこと。発表に使用する引用文献は、書籍や論文を中心とすること。また各省庁の情報についてはインターネットからの引用を認める。</li> </ul>		
13. オフィスアワー	別途通知します。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	オリエンテーション ・カウンセリングとは何か	事前学習	教科書の第 1 章を読んでおく
		事後学習	配布資料の理解を深める
第 2 回	コンサルテーションとは何か 発表順及び発表内容決め	事前学習	教科書の第 2 章を読んでおく
		事後学習	当日配布された資料の理解を深める

第3回	カウンセリングを行うために必須のスーパーヴィジョン	事前学習	教科書の第3章を読んでおく
		事後学習	当日配布された資料の理解を深める
第4回	カウンセリングを行うために必須の教育分析	事前学習	教科書第4章を読んでおく
		事後学習	当日配布された資料の理解を深める
第5回	精神分析について	事前学習	精神分析について各自調べておく
		事後学習	当日配布された資料の理解を深める
第6回	精神分析の事例とその対応 防衛機制について	事前学習	精神分析について各自調べておく
		事後学習	自分にはどのような防衛機制が働いているか考える
第7回	ロゴセラピーの事例とその対応	事前学習	ロゴセラピーについて各自調べておく
		事後学習	当日配布された資料の理解を深める
第8回	フランクルについて	事前学習	アウシュビッツ収容所やナチスドイツについて各自調べておく
		事後学習	当日配布された資料の理解を深める
第9回	論理療法について	事前学習	論理療法について各自調べておく
		事後学習	当日配布された資料の理解を深める
第10回	論理療法の事例とその対応	事前学習	アルバートエリスについて各自調べておく
		事後学習	当日配布された資料の理解を深める
第11回	箱庭療法について	事前学習	箱庭療法について各自調べておく
		事後学習	当日配布された資料の理解を深める
第12回	箱庭療法体験①	事前学習	箱庭療法での事例について各自調べておく
		事後学習	当日配布された資料の理解を深める
第13回	箱庭療法体験②	事前学習	前回までの復習を徹底する
		事後学習	当日配布された資料の理解を深める
第14回	箱庭療法の事例とその対応	事前学習	前回までの復習を徹底する
		事後学習	当日配布された資料の理解を深める
第15回	絵画療法について	事前学習	絵画療法について各自調べておく
		事後学習	当日配布された資料の理解を深める
第16回	絵画療法体験①	事前学習	好きな絵を持ち寄る準備をする
		事後学習	当日配布された資料の理解を深める
第17回	絵画療法体験②	事前学習	風景構成法について各自調べておく
		事後学習	当日配布された資料の理解を深める
第18回	風景構成法の事例とその対応	事前学習	体験したことを振り返っておく
		事後学習	当日配布された資料の理解を深める
第19回	身体疾患患者のころについて理解する	事前学習	教科書の第11章と指示した該当章を読んでおく
		事後学習	当日配布された資料の理解を深める
第20回	身体疾患患者への心理療法	事前学習	教科書の第12章と指示した該当章を読んでおく
		事後学習	当日配布された資料の理解を深める
第21回	認知症患者のころについて理解する①	事前学習	認知症について各自調べておく
		事後学習	当日配布された資料の理解を深める
第22回	認知症患者のころについて理解する② ・その対応	事前学習	認知症について各自調べておく
		事後学習	当日配布された資料の理解を深める
第23回	夢について理解し、心理療法に活かす①	事前学習	自分がどんな夢をみるか思い出してメモしておく
		事後学習	当日配布された資料の理解を深める
第24回	夢について理解し、心理療法に活かす②	事前学習	夢、イメージについて各自調べておく
		事後学習	当日配布された資料の理解を深める
第25回	精神疾患患者のころについて理解する①	事前学習	どのような精神疾患があるか調べておく
		事後学習	授業内容の復習を徹底する
第26回	精神疾患患者のころについて理解する② ・その対応	事前学習	どのような精神疾患があるか調べておく
		事後学習	授業内容から発展する課題について各自考える
第27回	慢性疾患患者のころについて理解する	事前学習	教科書の第13章と指示した該当章を読んでおく
		事後学習	授業内容の復習を徹底する
第28回	慢性疾患患者への心理療法	事前学習	教科書の第14章と指示した該当章を読んでおく
		事後学習	授業内容の復習を徹底する
第29回	事例への対応①	事前学習	教科書は再度一通り目を通しておく。また第15章を読んでおく
		事後学習	授業内容の復習を徹底する
第30回	事例への対応②	事前学習	教科書は再度一通り目を通しておく。第15章

			を読んでおく
		事後学習	授業内容から発展する課題について各自考える